

講演会 研修会

■講演会

「試薬の日」記念講演会

東部地区で「試薬の日」記念講演会が下記の内容で開催されました。

- 日時：平成30年3月7日（水） 15：00～16：30
- 場所：コングレスクエア日本橋
- 演題：知の創造と活用
- 講師：早稲田大学 栄誉フェロー 名誉教授 竜田 邦明 先生
- 参加者：111名(38社)



講演風景

化学工業日報
2018年(平成30年)3月9日(金曜日)
【企画記事】(8)

科学技術立国の 基盤支える

特別対談

試薬

日本試薬協会は2015年に創設55周年を記念して「試薬の日」(3月8日)を制定し、この日を境として試薬の発展活動に努めている。試薬の日を記念して、今年3月7日に早稲田大学栄誉フェローの竜田邦明先生が「知の創造と活用」をテーマに講演した。竜田先生は巨大天然物群を産出する熱帯雨林の天然資源と化学の基盤を支える試薬の重要性について、有機化学の分野の一つである天然物合成において化学の発展を果たしてきた。講演を前に、日本試薬協会の野澤学会長と先生が対談を交わしている。

●試薬は、新薬の開発や基礎研究の発展に不可欠な存在である。試薬の品質や純度は、研究の信頼性を左右する。試薬の供給は、化学産業の基盤を支える重要な役割を果たしている。

●試薬の供給は、化学産業の基盤を支える重要な役割を果たしている。試薬の品質や純度は、研究の信頼性を左右する。試薬の供給は、化学産業の基盤を支える重要な役割を果たしている。

その信頼性が化学の根本



**早稲田大学
栄誉フェロー(名誉教授)**
竜田 邦明氏



**日本試薬協会会長
(関東化学社長)**
野澤 学氏

世界最先端の研究に貢献

早い段階からの産学連携を

夢大きく国際プロジェクト

【略歴】

1940年大阪生まれ。68年慶應義塾大学大学院博士課程修了(応用化学)。68年武田薬品工業研究員。69年慶應義塾大学助手。73年米・ハーバード大学博士研究員。77年慶應義塾大学助教授。85年同教授。93年早稲田大学客員教授。97年より早稲田大学理工学部教授。英・ケンブリッジ大学客員教授も兼任。紫綬褒章、藤原賞、日本学士院賞、米国化学界賞など受賞多数。

主な著作に『天然物の全合成』(日本)、『Glycoscience(特)~(企)』(ドイツ)、『Carbohydrate Synthons in Natural Products Chemistry』(米国) などがある。

【業績】

四大抗生物質群を含む102種の天然生理活性物質(天然物)の全合成を達成し、有機化学の重要な分野の一つである天然物合成において先導的役割を果たしてきた。それらのうち96種は世界初の全合成であり、世界的にも極めて顕著な完成数であることから、国際的に「Dr. Total Synthesis」と呼ばれる天然物合成の世界的第一人者である。なかでも特異な構造とその生理活性により四大抗生物質群と称されるマクロライド、アミノグリコシド、ペニシリンおよびテトラサイクリン系抗生物質のすべての代表物質の全合成に世界で初めて成功した。また、糖質を不斉炭素源に用いる合成法を開拓して約60種類の多様な天然物の全合成を達成し、有機化学の重要な方法論として基礎を築いた。さらに、数種の医薬品を創製し実用化すると共に、多くの工業的合成法も開発して、有機合成化学の無限の可能性を明示し境界領域の発展にも大きく寄与した。